

仮装団体の部優勝の浦幌サロンコーラス「設立30周年コーラスの誓い」(写真左)と準優勝のテッチャンとゆかいな仲間たち「アニメワンピース」。



## 趣 ぶるさとの夏まつり 趣向を凝らした衣装に声援

8月14～15日の2日間、コスミックホール前の特設会場で「ぶるさとの夏まつり」が開かれました。2人1組となりイントロクイズなどユニークな競技を競い合うストリートチャレンジなどの各種ゲームが行われたほか、焼き鳥などの露店が並びました。

15日に行われた仮装盆踊りでは、それぞれ趣向を凝らした衣装が来場者の目を楽しませていました。

## 心 高齢者・障害者スポーツ大会 心 地よい汗を流す

8月2日、高齢者・障害者スポーツ大会が総合スポーツセンターで開かれました。地域ごとに4チームに分かれ、輪投げや玉入れ、ピンポン球をスプーンに載せて運ぶリレーなどを行いました。



仲間の熱い声援を受け、力が入る綱引き。

## い 少年リーダー養成講習会 い 思い出ができました

8月5～7日の3日間、小学5・6年生を対象とした少年リーダー養成講習会が、森林公園で開かれました。宿泊学習をとおして、集団生活の規律や日ごろ体験できない野外学習を行うのが目的で、例年、道立足寄少年自然の家で開催していましたが、今年から町の文化財などをよりよく知ってもらおうと町内で実施。道遺跡に指定されている十勝太遺跡群や豊北海岸に残るトーチカ跡の史跡巡りなどが行われました。子どもたちは、「食事の用意が大変だった」「次も参加したい」などと感想を述べていました。



留真散策の森で樹齢200年以上の大木を見上げる子どもたち。

## 農業を身近に感じてもらおうと子ども農業体験コンバインにまた乗りたい

7月27日、子ども農業体験が、JAうらほろ西町工場で開かれました。農業への関心を深めるとともに地元食材の良さを知ってもらおうと企画。小麦の受入施設見学や収穫するコンバイン試乗、地元産の食材を使ったピザづくりを体験しました。

子どもたちは、「コンバインにもう一度乗りたい」「ピザがおいしかった」などと喜んでいました。



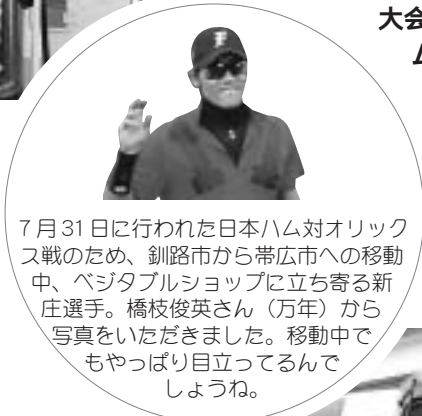
コンバインで敷地内を走行。刈取部を上下に動かしたり回転させたりしました。

力走する佐藤くん（写真右）。



## 第23回北海道小学生陸上競技大会 佐藤泰隆くん(上中央小)4位入賞

7月17・18日の両日、函館市で開催された北海道小学生陸上競技大会で上浦幌中央小学校の佐藤泰隆くん(4年生)が、100メートル走で4位入賞を果たしました。道大会への予選となった十勝大会での記録を更新する14秒65の好タイムでの入賞でした。



7月31日に行われた日本ハム対オリックス戦のため、釧路市から帯広市への移動中、ベジタブルショップに立ち寄る新庄選手。橋枝俊英さん(万年)から写真をいただきました。移動中でもやっぱり目立ってるんですね。

試乗した入所者の竹本静枝さんは「とても乗り心地がいいです」と喜んでいました。



## 浦幌出身の芸術家矢柳さん 自作の油絵と版画を寄贈

8月1日、芸術家の矢柳剛さん(東京都在住)が、役場を訪れ自作の油絵と版画を寄贈しました。作品は50号の油絵「原始林」と版画「愛の動物誌」の2作品で自然の崇高さ・神秘性などをテーマに描かれています。矢柳さんは、「多くの方がアート作品に触れ、人生がハッピーになる文化環境をつくってほしい」と話していました。



前衛かつエコロジカルな画風で知られる矢柳さん(写真右)。作品は、町立博物館と養護老人ホームに展示しています。

## 寄付金付年賀はがきで車両を寄贈 とても乗り心地がいいです

7月29日、浦幌郵便局(佐藤隆幸局長)は、NPO法人オーディナリーサーヴァンツ(梅木博理事長)に車いすのまま利用できるリフト付車両を寄贈しました。町内のグループホーム「五つのパンと二匹の魚」で使用されます。佐藤局長は「年賀はがきを買った方の善意を地域に役立たせることができうれしい」と述べていました。